

刀の魅力を満喫

第59回埼玉県名刀展

4月23日から5月15日まで、行田市郷土博物館で「第59回埼玉県名刀展～由緒・伝来 歴史を語る日本刀～」が開催されました。

名刀展では、水戸徳川家伝来の金梨地葵紋散蒔絵合口短刀拵など大名家に伝わる刀をはじめ、鎌倉時代から現代までの名刀を数多く展示。また、4月29日には研師の白田修さんによる刀身研磨実演も行われ、来場者は解説に聞き入りながら、興味深そうに見学していました。白田さんの手で刀が徐々に輝きを取り戻していくと、来場者からは驚きと感嘆の声が上がりました。



太田西小学校交通安全教室

ルールを学んで交通安全

4月13日から、市内の小学校などで交通安全教室が開かれています。これは、子供たちに交通安全に対する意識を高め正しい知識や技能を身につけてもらうため、毎年行われているものです。

4月26日は太田西小で行われ、学年ごとに横断歩道の正しい渡り方や安全な自転車走行などの交通ルールを学んだ児童たち。中でも4年生は自転車運転免許の実技試験を受けるとあって、警察官による講習に熱心に耳を傾けた後は、自転車にまたがり校庭に設けられたコースを少し緊張した面持ちで走っていました。



第31回さきたま火祭り

神話の世界に招待

5月4日、さきたま火祭りがさきたま古墳公園で行われました。日が沈み、夕闇が迫る頃、たいまつを持った古代人に先導され、蓮台に乗ったニギの命とコノハナサクヤ姫が登場。無数の炎に彩られ、辺りは厳かな雰囲気になりました。

また、会場内では熊本地震災害義援金の街頭募金も実施され、多くの来場者から温かい支援がありました。義援金は日本赤十字社埼玉県支部を通じて、被災地へ送られます。



ホタルの幼虫放流会

無事に成長してきれいに光ってね

5月8日、古代蓮の里で古代蓮の里ホタルの会主催による、ホタルの幼虫の放流会が行われました。

参加した親子らは、クイズや紙芝居などでホタルの生態などについて学んだ後、同会会員らが大切に育てた約7,000匹のヘイケボタルの幼虫を、園内のホタルの川に放流。子供たちは初めて見るホタルの幼虫の姿に少し驚く様子を見せながらも、無事に成長してきれいに光るようにと願って放ちました。なお、6月10日から12日まで同会主催によるホタル観賞会が開催されます(関連記事13ページ)。



点字サークル「あけのほし」

「のぼうの城」の点字版を寄贈

4月21日、点字サークル「あけのほし」の武藤房雄さん、小林千賀子さん、小牧千里さんが市役所を訪れ、点訳された「のぼうの城」を工藤市長へと手渡しました。

武藤さんらは、「のぼうの城」が映画化されたことを機に原作の点訳に取り組み、4年の歳月を掛けて点字版を完成させました。7冊にもなる大作を受け取った工藤市長は「大変ありがたい。ぜひ、有効活用させていただきたい」と話し、感謝の意を伝えました。今回寄贈された点字版は、図書館で誰でも利用することができます。



行田市中学校軟式野球選手権大会

勝利に向かってチーム一丸

5月7日、総合公園野球場で行田市中学校軟式野球選手権大会が開催されました。

11回目となる今大会には市内7チームが参加。選手たちはチーム一丸となって勝利を目指し、互いに声を掛け合いながら粘り強いプレーを披露しました。そんな選手たちのひたむきな姿を見たスタンドの観客からは惜しめない声援が送られ、会場はさわやかな熱気に包まれていました。



緑のカーテン用苗の配布

緑のカーテンで地球に優しい生活を始めよう

5月15日、産業文化会館南側芝生広場で緑のカーテン用苗の配布が行われました。

今年はゴーヤに加え、朝顔の苗も配られるとあって、朝早くから多くの人々が列をつくりました。苗を受け取った方は「うまく育てられるかな」と話しながら、緑のカーテンの設置に意欲を燃やしているようでした。緑のカーテンで、今年の夏も地球に優しいエコな生活を送ることができそうです。

